



なかなか暖かくならなかった春を過ぎて、いよいよ夏がやってきます! 青森のセクマイ関連イベントは夏が本番☆ あなたも是非一緒に参加してみませんか? (*^*)

今年もやります!

多様な性にYes! IDAHOメッセージ展開催!

スクランブルエッグが2009年から毎年開催しているメッセージ展。青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバルさんとのコラボで、映画祭会場前にて今年も開催いたします!

- 日時: 平成25年7月20日(土)
12:00~19:00
- 会場: 青森市新町1-3-7 アウガ5F
カダール AV 多機能ホール前

そこにあるメッセージは、もしかしたらあなたの身近な人が心に秘めている言葉かもしれません。この機会に、少し耳を傾けてみませんか? 皆様のご来場を、スタッフ一同お待ちしております!



【東北各地でイベント等を開催している団体】

- 青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル <http://www.aomori-lgbtff.org/>
- 性と人権ネットワーク ESTO <http://akita.cool.ne.jp/esto/>
- 岩手レインボー・ネットワーク <http://ameblo.jp/iwaterainbownetwork/>
- ♀×♀お茶っこ飲み会・仙台 <http://blog.goo.ne.jp/ochakkonomi>
- Anego <http://blog.canpan.info/anego/>
- やろっこ <http://sendai865.web.fc2.com>

「多様な性にYes!」僕にとってのIDAHO

IDAHO (アイダホ) とは、「国際反ホモフォビア・反トランスフォビアの日 (International Day Against Homophobia and Transphobia) ※1」のこと。1990年5月17日にWHOの精神疾患のリストから同性愛が削除されたことにちなんで、毎年5月17日に世界中で様々な行事が行われています。現在では世界100か国以上に広まる記念日になりました。

スクランブルエッグが参加しているのは、「やっば愛ダホ! idaho-net ※2」が呼びかけて日本各地で行われている「多様な性にYes!」のアクション。それは単純に、世の中の同性愛やトランスジェンダーなどへのフォビアに反対するというのではなく、自分の内側にある性に関するフォビアや様々な困難に向き合い、乗り越えていくためのアクションです。

僕は、女の子として青森県で生まれました。物心ついた頃から女の子らしくできず、また同性が好きでした。でも、男性と女性が恋をして結婚し、子どもを産み、家庭を築くのが当たり前で、それができないのは「悪いこと」「許されないこと」なのだと思っていました。誰にそう教えられたわけでもないのに、僕は幼い頃から日々の生活の中でそう学んでいたのです。

ある日、たまたまインターネットを通じて、セクシュアルマイノリティと呼ばれる人達が世の中にたくさんいることを知りました。

セクシュアリティとはその人の生まれ持った個性の一つなんだ、自分はひとりじゃないと知った時、僕は初めて自分の存在に「Yes!」と言えたのです。

自分に「No」と言い続けた時間は長くて、まだまだ僕は自分の中の壁を越えられません。でも、みんなが「Yes!」と言ってくれる時、僕は勇気をもらえます。

IDAHOは、「あなたはあなたのままでいいんだ」と伝え合う日なのかなと、僕は思っています。(創)

※1 同性愛やトランスジェンダーへのフォビアに反対する日。フォビアとは、嫌悪感や差別意識。

※2 やっば愛ダホ! idaho-netの公式ブログは、下記URL。
<http://yappaidaho.blog.shinobi.jp/>



第二回LGBT成人式



2013年1月20日(日)、東京都世田谷区民会館にてLGBT成人式が行われました。Re:Bitという早稲田大学公認の学生団体が企画しているもので、今年で2回目の開催となります。



袴やスーツ姿の新成人が溢れているのではないかと思います、私服で行ったら浮くかなー、とドキドキしていたのですが、会場には私服の人も多数。「成りたい人になる」がテーマの成人式ですから、参加者全員が全員新成人というわけではありませんし、年齢もセクシュアリティも不問なのです。ちなみに会場では、通常の成人式と同様に、着付けや写真撮影もやっていました。

メインイベント開始時間よりも早く到着したので、まずは展示コーナーを見て回ることに。全国のLGBT団体からの祝辞(もちろんたまごからも!)や、セクマイの家族に関する展示、大切な人への感謝の気持ちを書くコーナー、などなど、どれも胸がほんわかする内容でした。

開始時間になったらホールに移動です。受付でもらったレインボーカラーの素敵なミサンガが、入場証になります。ホール

内には、私のように1人で来ている方、友達同士で来ている方、ご家族で来ている方、色々でした。

成人式なので、まずは式典から。区長さんや議員さんからのお祝いの言葉や、新成人代表のスピーチなどがありました。少し堅い雰囲気の様式典が終わると、ファッションショー、ダンス、トークショーと賑やかなイベントが続きました。舞台に出ている方は、みんな何処かでつらいを思いをした経験がある人たちですが、堂々としたパフォーマンスを見て、みんなそれを頑張っ乗り越えてきたんだ、あるいはこれから乗り越えようとしているんだ、という気持ちを強く感じる事ができました。とにかく、みんな輝いていて素敵でした!



まだ参加したことがない方も、来年以降、機会があったらぜひ足を運んでみてください。これから自分がどう成りたいのか、何かきっかけを掴むことができると思います。(ほよ)

青森からは、毎年多くの方が進学や就職で首都圏へと向かいますが、その中にはもちろんセクシュアルマイノリティの人たちも大勢います。そうした背景から、スクランブルエッグではLGBT成人式とTokyou Rainbow Weekに賛同団体として、青森から祝辞や広報の協力をしています。

東京レインボープライド2013

先日、東京で「Tokyo Rainbow Week」という企画が行われ、ゴールデンウィーク中に集中的にLGBT関係のイベントが実施されました。今回はそのメインイベントである「東京レインボープライド」について書きたいと思います。

今年で2回目の東京レインボープライドは、昨年と同様、代々木公園で行われました。昼頃から各ブースでの企画やステージイベントが始まり、お昼過ぎからは渋谷と原宿をパレード。会場に戻ってきてからは、暗くなるまで再びステージイベントで盛り上がる、といった構成です。

去年参加した別のパレード・Save the Pride!のときは、一度中止になったものを急遽行う、という事情があったこともあって小規模だったのですが、今回はかなりの規模。沿道の人も合わせると、パレード参加者は12000人だったそうです。



パレードの規模にもびっくりでしたが、ブースの内容にもびっくり。各種LGBT団体は勿論、LGBTフレンドリーな企業や、各国の大使館まで来ていました。中には、ウェディングドレスやタキシードを着て記念撮影ができるという個性的なブースもありました。

ステージでは、歌やダンスのパフォーマンスが続々。二丁目で活躍されている方から、地方で活躍されている方までいました。また、大

使館の方々や、LGBT当事者・LGBTフレンドリーな議員さんからの挨拶もあり、政治的な側面も充実していました。

イベント中で一番印象に残ったのが、戸籍上男性であることをカミングアウトしながら、女性歌手として活躍されている中村中さんのステージ。生で見られただけでも感激なのに、フィナーレで「友達の手紙」を参加者全員で合唱する一幕があり、思わずうるうるしてしまいました。こんな一体感を味わったのは久しぶりです。中村さんは、「重要なのは1人になったとき」と話していました。会場にいれば、自分たちが本当にマイノリティなのか疑問に思うくらい、1人ではないこと

TOKYO
RAINBOW
WEEK
2013

を感じるすることができます。でも、日常に戻れば、日頃から仲間の存在を意識できる人は少ないでしょう。

どんな状況に立たされても、自分の悩みに上手に折り合いをつけて生きていくこと。そして、自分が本当に1人ぼっちの状況なんて、きっとないのだということ。まだ私自身も上手にできないこういったことを、少しずつでもできるようにしていこうと考えさせられた一日でした。こういうイベントが、地方でも徐々に行けるようになるといいなー、と願っている次第です。



(ほよ)

7/20、第8回青森インターナショナルLGBT フィルムフェスティバルが開催されます！

多様な性を考える映画祭が、今年も青森市で開催されます。

- 日時：7月20日（土）13:00 上映開始
- 場所：青森市新町1-3-7 アウガ5F
カダール AV 多機能ホール
- 上映プログラム数：3本
一日通し券、1プログラム券があります
- 問い合わせ先：
青森インターナショナルLGBTフィルムフェスティバル 実行委員会
TEL 090-6459-5136（留守番電話の場合があります。
メッセージを残して下さい、実行委員会からご連絡致します）

～ たまご新メンバー紹介 ～

初めまして、こうです。

音楽と動物が生きる糧！

だけど寂しがり屋な人

です。未熟者ですが仲

良くして下さい！



【Smash Hit!!】

「遙かなる水の音」 著 村山由佳

～信じる道は一つじゃない。愛の形も一つじゃない。～

パリで一人の青年が死んだ。最期を共に過ごした同居人は、ゲイの中年フランス人だった。青年の遺言は「遺灰をサハラにまく」こと。フランス、スペイン、モロッコ——。青年の姉、友人のカップル、同居人のグループは、様々な思いを抱えたまま、遺言を叶える旅に出るが……。ゲイである青年の悩み、彼を思う周囲の複雑な心、セクシャルマイノリティを見る周囲の目、そして愛情と友情。とても素敵で切ない作品です。

(柊)



編集後記

今回はにじたまに関して様々な改編をしましたw
どこをどうしたか、見た目にはきっと分からないんだろうなあw
大変だったけど、でもいい経験になりましたw
(柊)



☆☆☆ メルマガ登録受付中！！ ☆☆☆

スクランブルエッグでは、この度メールマガジンを始めました！登録は無料です(^-^)

「無理せず楽しく、自分達の生活を大事にしながら、できることをしてみよう！」というのがモットーの当たまご。イベント自体は年に2～3回程度ですが、開催のお知らせのメール等を配信させていただく予定です。にじたまのような、ゆるめの内容でお送りいたしますので、気軽にご覧いただければと思います。

登録ご希望の方は、件名に「メルマガが希望」と入れて、gochamazetamago@yahoo.co.jp までご連絡ください！

【にじたまの主な設置場所】

青森県立図書館／青森市民図書館／青森県男女共同参画センター「アピオあおもり」／青森市男女共同参画プラザ「カダール」／弘前市立図書館／弘前市民参画センター／弘前大学／藤崎町ふれあいずーむ館／平川市文化センター／スポカルイン黒石／五所川原市立図書館／八戸市立図書館／八戸市図書情報センター／八戸市市民活動サポートセンター「ふれあいセンターわいぐ」／十和田市民図書館／三沢市公会堂／むつ市立図書館／FMアップルウェーブ

ご協力ありがとうございます。